

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年2月21日公開

今夜（書記注：イスラエル時間 2/21・18:00、日本時間 2/22・1:00）は、4~5つの話題についてお話しします。

一つ目は、グッドニュースで、やっと明かすことが出来るようになったのが、昨年7月の最後の日に、イスラエル諜報機関によって、オーストラリアでの最大のテロ攻撃が阻止された、ということです。後ほど、それについてお話しします。それから、我々の地上軍の為に、異なる30か国でISISが計画していたテロ攻撃を、イスラエルが阻止する事が出来ました。我々は、シリアにもトルコにもイラクにもリアルタイムの情報があって、我々の周辺諸国にそれを提供しています。これまでにイスラエルは、周辺の国々に30回以上通達して来ました。オーストラリアに関しては、我々がオーストラリアの高官に伝えたのは、エティハド航空の爆破で、エアバス380、旅客数が最大の飛行機です。8月1日だったと思いますが、シドニーからアブダビへ飛行予定のものでした。我々の情報がオーストラリア高官に渡されてから、数時間のうちに犯人が逮捕され、爆弾が発見されましたが、計画は、爆弾だけではなかったのです。2つのことが計画されていて、爆破物の使用と、もう一つは化学兵器です。——ということで、大成功。ようやく、私たちはこれが言えるようになりました。8200部隊と呼ばれる、非常に重要なイスラエル軍の軍諜報機関の、黄金の情報です。シリア国内で、それから、シリアからオーストラリアへ発せられた会話を察知して、オーストラリアに警告することが出来たのです。あの時、私はオーストラリアにいました。よく覚えていますよ。旅の最終日で、空港に向かっている最中に、犯人が逮捕されたのです。イスラエルが背後で、オーストラリアに情報を渡していたので、私も既に知っていましたが、もちろん沈黙して、オーストラリアの高官に任せるのがベストですから、黙っていました。それが今回、一般に公開されたので、今なら皆さんにお伝え出来ると思ったのです。イスラエルが、オーストラリアの高官に情報を渡し、大きな空中爆破が防げました。それ以前に、これはエティハド航空、アブダビの航空会社です。皆さんに伝えておきたいのは、イスラエルのパスポート所持者は、アブダビに入ることは許されていません。私は、エティハド航空に乗ることは出来ません。もし出来たとしても、空港の敷地内から出ることは許されません。ただ、彼らの空港を中継地点として使用するだけで、中には入れません。それが我々は、アブダビ、ドバイ、その他の多くの命を救い、それでもなお、敵国として見られているのです。しかし我々は、そんな事は全く気にしていません。ISISの計画を止める事さえ出来れば、現在はそれが私たちにとって最も重要なのです。

ということで、皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。只今ユーチューブでライブ配信中です。中東情勢アップデートです。まずは、私たちの周辺で起こっている2つの事についてお話しします。一つ目は、皆さんのメディアでは伝えていないでしょうが、現在、ダマスカスの郊外北東部で、とんでもない大量殺戮が起こっています。人口40万人の場所です。この48時間の間に、300人以上が殺害され、ロシアの援助を受けたシリア政府が、今も爆撃しています。ロシアのものか、シリアのものかは分かりませんが、戦闘機スホイの1機が撃墜されました。彼らはなんとか緊急着陸しましたが、反政府勢力によって撃墜されたのです。ともかく、皆さん、300人です。60人以上の子どもたちが、この48時間の間に大量殺戮されたのです。しかし、誰もそれを口にしません。誰もそれを伝えていません。それが、ダマスカスの郊外で起こっていることの1つです。人々は目を覚ますべきです。戦争は継続していて、イスラエルとは一切関係ありません。ダマスカスは破壊されるかも知れない、いずれ破滅される、聖書的に見れば破滅する、と我々は考えて、常に目を見張ってい

ます。そして、アラブ人たちは、周辺の誰よりも、ダマスカス破滅に関して良い仕事をしているように見えます。現在ダマスカスは、ロシアの助けを借りてバッシュール・アサドの軍隊が、ほぼ粉々にしています。もし、誰でも、シリアのシーア派側の人間に聞けば、

「テロから国を守るために、アサドは正しいことを行なっている」

と言うでしょう。しかし、スンニ派の国民に聞けば、彼らは

「惨殺され、大量殺戮されている」

と教えてくれるでしょう。

「情け容赦なく、上空から爆撃されている」

と。誰もこれについて伝えていないことは、私も知っていますが、皆さん、理解しておいてください。これは非常に重要な事です。人権団体はどこも、あちらで起きていることに関して一言も発しません。パレスチナ指導者たちはアサドを崇拜しています。世界は、ロシアがこの件に関わっていることを、一切非難しません。皆さん、現在シリアで、非常に悲惨な大量殺戮が起きているのです。それが一か所、ダマスカス郊外です。

もう一つ、現在起きているのは、バッシュール・アサドのシーア派勢力が、アフリーン（書記注：シリア北西部アレppo県に属する）の飛び地に潜入しようとしています。ここはエルドアンが占領した、現在はシリアの北西部です。このように、この地域を巡って、現在はシリアとトルコの間で、小さな戦争が起きている。エルドアンは北部の反政府勢力を囲んでいて、バッシュール・アサドは彼らを殺そうとしています。そしてエルドアンは、彼らの周囲に軍事基地を建てようとしています。昨日、バッシュール・アサドがそこに入ろうとしましたが、エルドアンはバッシュール・アサドの兵士を大勢殺害しました。現在もそれは続いていて、彼らはエルドアンによって激しく爆撃された後、再びアフリーンの飛び地に入りました。繰り返しますが、小さな戦争が起きている。最近のアップデートでも言いましたが、現在、10の小さな戦争がシリア周辺で起きている。アフリーンもその一つ、ダマスカスもその一つ、もう一つはデリゾール東部（書記注：シリア東部ユーフラテス川中流域）で、クルド人がアメリカによって守られている所です。他にもまだまだあって、ISISが現在、他の場所で勢力を取り戻しています。シリア周辺で起きている事には目を覆いたくなります。人が人を殺し、無実の人たち、子どもたちが大量殺戮されています。化学兵器はまだ、一回以上使われています。しかし世界は、見て見ぬふりを決め込んでいます。フランス大統領は、

「化学兵器が使用されていることが分かれば、自分が介入する」

と言いました。そして、それは使用されています。彼もそれを知っています。しかし彼は、それに関して何もする気がありません。誰も、ロシアにも、現在のイランにも敵対したくないのです。シリアの泥沼に関わりたくないのは確実です。このように、多くのことがシリアで起きている。しかし、皆さんのメディアは全く伝えていないのです。心が引き裂かれたのは、10歳のシリア人の少年が撮ったビデオを見ましたが、彼が自分の電話で、この大量殺戮を伝えているのです。幼い少年が、大量殺戮を報道しているのです。世界は、無関心でいるわけにはいきません。しかし、残念ながら、世界は無関心です。それだけではなく、まだまだあります。2月13日、8日前ですが、エルドアンが大々的に演説をしました。その中で彼は、次の戦い、次の戦争について、概要を伝えました。まず彼は、シリアに侵入し、そこに軍基地を建てています。彼はシリア北部でやりたい放題しています。しかし、誰も何も言いません。他国に侵入することを、誰も何も言いません。シリア領空の侵害や、シリア領地の侵害に対して、国連からは一切非難がありません。彼は権力に酔いしれています。2月13日に彼が言ったのは、

「アフリーンの飛び地で、我々の権力を保持するために、我々が行わなければならなかった同様のことを、キプロスのエーゲ海でも行う。」

つまり、彼の欲望はどんどん拡大していて、彼はこのように

「キプロス沖での、ガスの発見について、我々が気付かないなどと、一瞬でも思うなよ。」

と言っています。皆さん、私はずっと言ってきましたが、我々の領土に攻め込むために、ロシアの顎にかけられる鉤は、ガスと石油です。イスラエルがそれを発見し、他の国も発見しました。しかし、エルドアンも分け前が欲しいのです。彼が言っているのは、

「申し訳ないが、1800年代や1900年代前半、第一次世界大戦の後に交わされた国際合意など、私は興味がない。」

これらは、トルコが世界から屈辱を受けた時に成されたものです。

「キプロスは我々のものだ。あちらの島々も…」

あそこには18の島群があって、それは「イミヤ島」と呼ばれていますが、トルコはそれを「カルダック島」と呼んでいます。基本的には、エルドアンが「これは我々のものだ」と言っているのです。ここ二週間ほど、ギリシャとトルコの間で多くのことが起こっていますが、メディアはそれに関して、一切伝えていません。エルディアンの欲望は大きく、その多くが——良いですか？その多くが、キプロス沖で発見された、ガスと石油です。ガスだけでなく、石油も見つかったのです。そしてエジプトも仲間に加わろうとしていて、——エジプトは、ガスを購入したいのです。イタリアは、採掘するためのチームをあちらに送っている国です。そして、エルドアンは、彼が自分のものだと言っている島の沖で、皆が楽しんでいるのを知っています。そんなわけで、いくつかの事態が起こっていて、1月28日には、トルコの湾岸警備隊が——皆さん、トルコの湾岸警備隊ですよ？それがギリシャの防衛大臣を、これらの島に入らせないようにしたのです。これら、領土紛争中の島々に、です。これは宣戦布告ではなく、これ自体がもう戦争なのです。それから、2月のこの3週間に36回、武装したトルコのF-16がギリシャの領空に潜入しています。まるでマフィアですよ。

「お前たちの領域で、俺たちは何でもやりたい放題するのだ」

と言っているのです。2月13日には、トルコの湾岸警備隊が、ギリシャの湾岸警備隊の船に故意に衝突しました。大きなダメージは無く、負傷者もいませんでしたが、これもまた、エルドアンが諦めないということを示しています。ギリシャはもう既に、

「このようなことが次に起こったときには、我々は穏やかな対応はしない」

と言っています。

皆さん、我々が現在目にしているのは、基本的には、新しいものも古いものも、中東でますます発展している対立ですよ。こんにち、我々が目撃している対立は、数百年前にもあった対立です。つまり、あちらでは、スンニ派対シーア派の戦いが、1400年続いているのです。ギリシャとトルコの戦争は、あそこで1800年代からあります。それから、シリア、イラクでの異なる部族間での対立も、古くからある戦争です。クルド人たちは、独立をかけてずっと戦っています。このように、これら眠りかけていたあらゆる対立が、シリア戦争の結果、活気を取り戻しているのです。そして、皆がこれらのことから、自分の分配利益を得ようとしているのです。トルコの石油複合企業が、黒海で石油を見つけるために、何度も何度も採掘していますが、何も見つかりません。ところが、ギリシャはキプロスに膨大な量の石油を発見しました。それなのに、スルタンには何も見つからない。キプロスの人たちは、1,270億m³のガスを発見しました。このガスで、あの島が少なくとも100年は

持つ、と考えてみてください。だから、トルコのスルタンは怒っているのです。皆が石油を見つけ、ガスを見つけ、お金の話をしているのに、自分は何もないまま行き詰っている、と。ですから、これに関しても様々な事が起こるでしょう。先ほども言いましたが、エジプトもこれに関わっています。エジプトはエネルギー、エネルギー資源が必要ですから。そこで2013年、エジプトとキプロスの高官が、彼らの間でのガス自由貿易に合意しました。基本的には、彼らはトルコ側のキプロスを無視したのです。皆が、利益の総額だと考えているものを、エルドアンは自分のものだと考え、それを得たいのです。

ということで、ダマスカスで大量殺戮が起こっています。シリア北部で、小さな戦争が起こっています。バッシュール・アサド対トルコです。また、見ての通り、トルコのスルタンが狙っているのは、シリア支配だけでなく、ガス、石油、そして18の島々の支配と、それからキプロスのガスと石油です。皆さん、これらが現在起こっていることですが、メディアは一切報道しません。

もう一つ、パレスチナが国連に行って、彼らの和平案を明らかにすることを決めました。マハムード・アッバース大統領は、

「国際的な取り決めが何であれ、エルサレム宣言は、交渉条件から外れる」

と述べました。つまり、エルサレムは交渉の対象となり、トランプ大統領のエルサレム首都宣言は、交渉から外れる。アメリカは、両者の仲介役ではない。基本的に彼は、自分が歴史を支配出来ると思っているのです。自分が物事を覆せると思っています。いつも彼らがやっているように、現実を無視して、宣言を無視して、合意を無視して、自分たちで創り出したいのです。しかし、エジプトは彼らの味方ではなく、サウジも彼らの味方ではなく、湾岸諸国も彼らの味方ではありません。資金提供して、彼らの活動を助けようとしているイランとトルコを除けば、恐らくパレスチナには、大したものは何もありません。だから彼らは、これら全てのことに対して、非常にイラついているのです。

それから、イスラエルの内政についてお話しますと、皆さんの多くが、ネタニヤフの件をご存知でしょう。異なる4~5つの起訴がありますが、ネタニヤフを贈収賄容疑で告発しようとしているのです。問題は、彼は誰からもお金は受け取っていないことで、定義は、彼が友人から受け取った葉巻とシャンペンが、賄賂になるのかどうか、ということです。もしこれが、賄賂であるのなら、収賄だけでなく、贈賄した側も起訴しなければなりません。現在挙がっている起訴の多くが、減刑と引き換えに、不利となる情報を流す者の証言を使っているのです。彼らは、ネタニヤフの側近補佐官や親友が、うっかり情報を漏らさないように守っていますが、同時に、ネタニヤフが崩壊した首相である事の動かぬ証拠を、警察はずっと見つけられないのです。それだけでなく、言っておきますと、イスラエルの一般人は、腐敗メディアや、メディアの洗脳を信じていません。昨日行われた、ある統計では、実際、ネタニヤフの政党は、国会でさらに多くの支持を得ていたのです。もし、投票が昨日行われていたなら、前よりも多くの票を得ていたでしょう。前は30でしたが、今回は34です。つまり社会は、ベニヤミン・ネタニヤフは優秀な首相であり、メディアがリベラルと一緒にあって、彼を倒そうとしているのだ、と確信しているのです。我々はそれを見ていますし、アメリカでも、他の国でも、それを見ています。リベラルはメディアと結託して、政府を倒そうとしている。その政策が気に入らないからです。良かった点は、イスラエル人のほとんどが、これら全てに盲目ではなかったこと、それからネタニヤフはフェイスブックを通して、国民に直接語っています。彼は、イスラエルのメディアからは、インタビューさえ一切

受け付けません。彼らが何者で、彼らの目的が何であるのかを、彼はちゃんと知っているからです。彼は毎日、フェイスブックで、イスラエルの人たちに語っていますし、皆が彼を見ています。だから何が起きているのか、私たちは知っているのです。もし、彼に対して不利になるものを警察が本当に持っていたなら、イスラエルの法務長官が、とっくの昔にネタニヤフを起訴していたでしょう。ただ、イスラエルの政界の現在の不透明さが、次の選挙を早めることはあり得ます。私は、これを非常に警戒しています。なぜかと言うと、敵が不安定な政府を見、首相が、自国のメディアや、自国の政治組織に追いかけているのを見たなら、彼らはそれを利用するでしょうから。もう既に、イランが次のように言うのを耳にしています。

「もしイスラエルが、我々に向かって何かをするなら、我々がテルアビブを灰にする。」

レバノンの首席補佐官は、

「イスラエルと戦争をする準備が出来ている」

と言っています。彼らはみな、口だけは達者なのです。しかし、実際に事が始まると、彼らは全ての戦争に負けました。もし彼らが、勝利を与える神を信じているのなら、どうして彼らの神は、彼らに勝利を与えないのでしょうか。彼らは、1948年にイスラエルが生まれて以来、全ての戦争に負けているのです。そのこと一つとっても、

「自分は正しい神を信じているだろうか？」

と考えるべきです。同時に、イスラエルを守られる方は、まどろむことも、眠ることもありません（詩篇 121:4 参照）主は、常にそこにおられます。

先週の土曜日、私が報告したように、6日か5日前に、ロケットがイスラエル人の家の上に落ちましたが、爆発しませんでした。周辺の人、全員が死んでいたかも知れないのです。それが、一人として、かすり傷一つ負いませんでした。このように、滅ぼそうとする動き、崩壊させようとする動き、荒廃させ、殺害しようとする動きは常にあります。しかし、神もまた、私たちのためにいてくださるのです。私たちはイスラエル人として、それを感じています。よく、「怖くないのか？」と聞かれますが、怖くありませんよ。実際、本当のことを言えば、私は世界の他のどの国にいるよりも、自分の国にいる時が一番安全だと感じています。我々は、敵をしっかり見張っていることを、私ははっきりと分かっていますから、自分の国にいる方が安全だと感じるのです。我々は、自分の敵が誰であるかを知っています。（飛行機の音）皆さん、聞こえるでしょうか？たった今、わたしの家の隣で、F-16が離陸しています。ここでは常にF-16やF-35が飛行していて、常に報復の準備が出来ています。それがどこであれ、我々は常に、卑劣な者たちを打ちのめす準備が出来ています。悪人は常に我々を殺し、滅ぼそうとしますが、我々は準備が出来ています。

もう一つお伝えすると、イスラエルは対弾道ミサイルロケット、アロー3の実験に成功しました。弾道ミサイルを、文字通り宇宙で破壊するのです。空中で、です。距離的にも、これはロケットが飛行し、標的に命中させるには最長距離、イスラエルはその発射に成功しました。これはかなり重要なのです。なぜなら、イランのような遠く離れた国からイスラエルを撃つには、弾道ミサイルが必要だからです。だから、地球のあちらから飛んで来るものに対して、我々は備えが出来ています。

ということで、パレスチナについてお話しました。ネタニヤフの問題についてもお話しました。シリアで、エルドアンがしていることについてもお話しました。

最後に、私のとても親しい友人、アン・グラハム・ロトさんへ。

つい数時間前に、伝説のお父様ビリー・グラハム氏が昇天されましたが、慰めの言葉で、このアップデートを終わりたいと思います。信仰の柱、アメリカ、世界中の膨大な数の人たちにとっての信仰の父、100歳には達しませんでした。彼の人生100年目に、ビリー・グラハム氏が、主の元へと帰られました。彼が語り、人々に伝えた主、彼が生涯を通して褒め称えた主の所です。御使いたちは喜んでいますが、ここでは、彼がいないことで悲しんでいる人もいます。でも、天国にいる人たちは皆、彼のような信仰のチャンピオンを迎えて、喜んでくれるはず。彼は、競走を走り抜きました。信仰を保ちました。そして今、彼はあちらで、義の栄冠を受け取っているのです。それを、今後は、彼がイエスの足元に差し出します。素晴らしい神の人でした。彼の娘さんと、息子さんのフランクリン・グラハム氏、その他のご家族を存じ上げていることを、とても光栄に思います。とても寂しい思いをされているとは思いますが、しかし、お父様が、今はずっと良い所におられることを、皆さん分かっておられます。

ということで、短めのアップデートでした。今回は、この辺で起こっているいくつかの事についてお話ししました。皆さん、私にとっては、ここに住むイスラエル人として、また、私の国で起こっている事の背景を理解しているユダヤ人として、それから、旧約、新約、両方の聖書を理解するイエス・キリストの信者として、軍人として、イスラエルの軍事システムを理解しているだけでなく、パレスチナとの交渉人として、アラブ語を話し、彼らの言動を理解する者として、ここにいてをとても光栄に思っています。皆さんには、ぜひ知っていただきたいのです。私は出来る限り、センセーショナルリズムからは距離を置き、我々の周辺で起こっていることを伝えられるように努めています。また、私は全てをふるい分けています。あまりにも多くの誤った情報が出回っているからです。新聞に書かれている事の多くは、書いた者の意見であって、真実ではありません。私は、情報源を掘り下げるよう努めています。私が持っている、内部情報やアラブ報道機関、イスラエル諜報機関の情報等を調べて、出来る限り正確で、明確なアップデートが出来ると心掛けています。この終わりの時、ビホールド・イスラエルの義務の一つは、人々をこの国に案内するだけでなく、神の御言葉を教えるだけでなく、人々が時と季節を理解できるように、助けることだと思っています。ここにいて、皆さんの地上軍のようなものです。私にとっては、私に与えられた、ごく基本的、かつ質素な手段で、これをさせていただいているというのは、とても光栄な事です。2つの電話と、2つの小さな三脚と、それに唯一のマイクは1つの電話にしか使えず、もう1つの方には使えませんが、出来る限りのことをしています。

フェイスブックやユーチューブで、私たちをフォローしてくださり、ありがとうございます。ウェブサイトを訪れてくださって、ありがとうございます。インスタグラムに投稿した写真をご覧いただきありがとうございます。Beholdisrael です。

皆さんの友情とご支援に感謝します。

現在、メディア会社と交渉中で、週一でテレビ番組を始めることになると思います。クリスチャン界に、中東で起こっている事を毎週まとめてお伝えして、理解を深めるためです。また、ラジオ局とも交渉中です。しかし、全ては、皆さんのご支援とお祈りなしには不可能でした。ですので、皆さんのご支援、サポート、お祈りに心から感謝します。どうか今後もよろしくお願いします。私たちは現在、急成長していますが、いかなる賞賛も、私たちのものにはしません。私は、自分の中に何も良いものなどないことは、よく分かっていますから。

ただ、神が、他の人よりも使いやすかったのでしょうか。神が、インターネット上と現地の両方にプラットフォームを下したのは、明らかです。ですから私は、主が与えてくださった中で、自分の最善を尽くして、主に仕えます。

皆さん、本当にいろいろありがとうございます。皆さんのご支援、友情、お祈り、ミニストリーへの援助に感謝します。引き続き、私たちと繋がっててください。ニュースレターを登録されていない方は、ぜひご登録ください。ウェブサイト Behold Israel.org より、メールアドレスを入力して、週に一度、メールをお受け取りください。ユーチューブチャンネルをまだ登録されていない方は、どうぞご登録ください。フェイスブックで、“フェイスブック刑務所”に入れられた後は、ユーチューブが伝達手段になると思います。もし、まだフェイスブックが使えるのなら、フェイスブックでも Behold Israel をフォローしてください。

ありがとうございます。ガリラヤより、God bless you all!

シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>